

サンプルインスタンス

概要説明

(みなし有価証券届出書)

平成 26 年 7 月
金融庁 総務企画局 企業開示課

はじめに

→ 添付資料について

本書の添付資料は、次の図表のとおりです。

資料名	概要
添付 1 物理ファイル一覧	サンプルインスタンスに含まれるファイルの一覧です。
添付 2 設定している DEI の情報	サンプルインスタンスに設定されている DEI 情報の一覧です。
添付 3 コンテキスト情報設定	サンプルインスタンスの報告書インスタンスに設定されているコンテキスト情報の一覧です。
添付 4 タグ設定一覧	報告書インスタンスに設定されているタグの情報の一覧です。

→ 略称

本書に記載されている略称は、『EDINET タクソノミ用語集』を参照してください。

→ 提出データ及びダウンロードデータ

サンプルインスタンスには、提出データ及びダウンロードデータが含まれています。

提出データは、実際の書類提出時に必要なファイルで構成されています。

ダウンロードデータは、実際の書類ダウンロード時に含まれるファイルで構成されています。ダウンロードデータには、提出データに加えて XBRL インスタンスファイル及び CSV ファイル（※）が含まれています。

※CSV ファイルの構成内容は、次の図表のとおりです。

No	説明	備考
1	ダウンロードデータ作成日	仮の日付が設定されています。
2	件数	
3	書類管理番号	仮の値が設定されています。
4	書類名	
5	EDINET(ファンド)コード	
6	提出者(ファンド)	

Contents

1 サンプルインスタンスの目的	1
2 サンプルインスタンスの構成概要	1

1 サンプルインスタンスの目的

EDINET タクソノミの内容、利用方法、インスタンスの作り方等の詳細な情報については、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』、『報告書インスタンス作成ガイドライン』及び『報告項目及び勘定科目の取扱いに関するガイドライン』を提供しています。

サンプルインスタンスの目的は、具体例を提示することにより、これらのガイドラインの理解を容易かつ正確なものとすることにあります。

サンプルインスタンスにおける開示例は、可能な限り開示規則及び開示慣行に準拠したものをを用いるようにしています。しかし、サンプルインスタンスは、XBRL データ作成上の技術的論点を主目的にしており、開示慣行そのものについて規範を提供するものではない点には注意してください。

2 サンプルインスタンスの構成概要

サンプルインスタンスとして、提出者別タクソノミ及び報告書インスタンスを用意しています。用意されているサンプルインスタンスごとの具体的な構成については、次の図表を参照してください。

図表 2-1 サンプルインスタンスが表現する報告書の構成概要

No	対象様式	財務諸表本表の特徴	会計期間の種類	別記事業	備考
●特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令(みなし有価証券届出書)					
1	有価証券報告書【みなし有価証券届出書】 第六号の七及び第七号様式 (内国投資信託受益証券)	個別のみ	通期	投資信託 受益証券	シリーズファンドを対象とする。
2	訂正有価証券届出書	-	-	-	上記 No.1 に対して販売会社の追加を行ったもの。
3	訂正有価証券報告書【みなし訂正有価証券届出書】	-	-	-	上記 No.1 に対して No.2 の提出後に有価証券報告書部分の誤謬を訂正したもの。
4	半期報告書【みなし訂正有価証券届出書】 第十号様式(内国投資信託受益証券)	個別のみ	中間期	投資信託 受益証券	シリーズファンドではなく、上記 No.1 との内容の連続性はない。

各サンプルインスタンスの設定のうち、表示内容については、各サンプルのインライン XBRL ファイルをブラウザで参照してください。

その他の各設定については、「はじめに」の添付資料を参照してください。

サンプルインスタンス概要説明

(みなし有価証券届出書)

平成 26 年 7 月
